

# 概況

本統計調査の概況は、最近数年の傾向と比べても大きな変化はない。  
詳細は次のとおりである。

## I 学校種別

---

### 1 小学校

(場合別) 「休憩時間」に最も多く発生し、全体の約半数を占めている。

(場所別) 「運動場・校庭」が最も多く、ついで「体育館・屋内運動場」「教室」に多い。体育用具や遊具を使用中も多く、施設面からみた安全管理も重要である。

(部位別) 「手・手指部」が最も多く、ついで「足関節」「顔部」「頭部」に多い。中学校・高等学校に比べ、顔部や頭部のけがが多く、頭部が重いという身体的特徴が影響していると推測される。

(体育活動中の運動種目別)

「バスケットボール」と「跳箱」が他の種目より格段に多い。ついで「サッカー・フットサル」「ドッジボール」となっている。

(時間帯別) 「10-11時」「13-14時」に極端に多く発生している。「10-11時」は業間休み、「13-14時」は昼食時休憩時間(昼休み)であり、いずれも「休憩時間」での多発の裏付けデータとなっている。なお、中学校・高等学校では業間休みを設けているところはほとんどないため、小学校と同じ傾向にはなっていない。

### 2 中学校

(場合別) 「課外指導」に最も多く発生している。「課外指導」のほとんどは「体育的部活動」によるものである。

(場所別) 「体育館・屋内運動場」と「運動場・校庭」に格段に多く発生している。身体的発達に伴い、体育も競技志向が強まっているからではないかと推測される。ついで「教室」が多いが、小学校に比べ件数がかなり少なくなっている。

(部位別) 「手・手指部」が最も多く、ついで「足関節」、そのあとに「眼部」「膝部」「足・足指部」に多くなっている。そのなかでも「眼部」は、20年前(平成3年の給付データ)に比べ、けがの増加が著しい。

(体育活動中の運動種目別)

球技中のけがが多く、全体の約74%を占めている。その内訳は「バスケットボール」「サッカー・フットサル」「バレーボール」「野球(含軟式)」の順で多い。球技以外の種目を含めても順位は変わらず、一般的に部員数の多い部活でけがの発生件数が多い傾向がみられる。

(時間帯別) 「10-11時」「11-12時」に最も多く発生している。午前中に行われる教科体育によるものと思われる。次いで、「16-17時」「17-18時」の発生が多く、これは部活動中によるものと思われる。

### 3 高等学校・高等専門学校

- (場合別) 「課外指導」に最も多く発生している。「課外指導」のうち「体育的部活動」が全体の半数以上を占めている。
- (場所別) 「体育館・屋内運動場」と「運動場・校庭」において、全体の約71%を占めている。場合別と合わせてみると「課外指導」つまり部活動中での事故が多いことを裏付けた結果といえる。
- (部位別) 「足関節」と「手・手指部」の発生が多い。部位のうち大項目で見ると「下肢部」が全体の4割を超え、最も多い。下肢部のけがについては、体幹部を鍛え体の中心(軸)を安定させることが有効とされている。ホームページ等で公表しているセンターの学校災害防止調査研究委員会第一部会の研究内容「体育的部活動のけが防止プログラム」を参考としたい。
- (体育活動中の運動種目別)  
高等学校でも、小学校・中学校と同じく「バスケットボール」に最も多く発生している。2位は「サッカー・フットサル」、3位は「野球(含軟式)」の順である。
- (時間帯別) 「11-12時」に格段に多く、次いで「10-11時」「17-18時」に多く発生している。

### 4 幼稚園・保育所

- (場合・場所別)  
幼稚園・保育所ともに「保育中」における「園舎内」と「園舎外」でほとんど発生している。幼稚園では「運動場・園庭」で、保育所では「保育室」で最も多く発生している。
- (体育用具・遊具別)  
幼稚園・保育所ともに「すべり台」で最も多い。「すべり台」は逆さのぼりなどの誤った使い方によるものも多いため、すべり台の安全な使用方法の研究と、子どもたちへの「安全教育」の開発も重要である。
- (部位別)  
幼稚園では、「頭部」、「眼部」、「歯部」に続いて、「手・手指部」が多く、保育所では、「眼部」、「頭部」、「肘部」に続いて、「歯部」が多くなっている。部位のうち大項目で見ると幼稚園・保育所ともに「顔部」が全体の半数近くを占めている。
- (月別)  
幼稚園では「5月」「6月」「10月」「11月」に発生が多くみられる。保育所では、比較的「10月」「11月」に多いが、年間を通して発生している傾向にある。

# グラフ別

## 1 負傷・疾病における場合別発生割合

学校の管理下を、各教科等、特別活動（除学校行事）、学校行事、課外指導、休憩時間、寄宿舎、技能連携、通学（園）中に分類し、各学校種ごとにそれぞれの割合を表したものが図1である。

幼稚園・保育所については、保育中、通園中、寄宿舎に分類している。

小学校においては「休憩時間」に発生するケースが全体の約半数を占めているが、教師の目に届きにくい時間帯であり、日頃からの注意喚起が必要である。中学校以上になると、年齢が高くなるにつれて「休憩時間」の怪我が減少し、「課外指導」、つまり部活動の占める割合が非常に高くなる。部活動時のけがの予防には活動環境を整える等、安全指導が大切である。センターの学校災害防止調査研究委員会 第一部会で作成している「体育的部活動のケガ防止プログラム」を参考としたい。（センターのホームページで公表中）

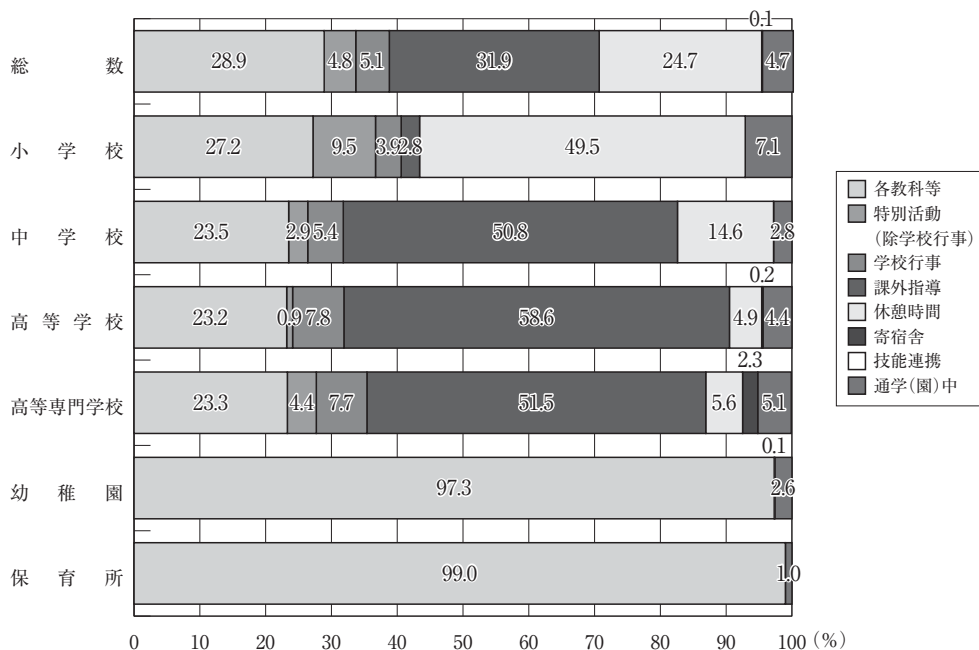


図1 負傷・疾病における場合別発生割合

表1

単位：%

	各教科等	特別活動 (除学校行事)	学校行事	課外指導	休憩時間	寄宿舎	技能連携	通学(園)中	合計
総数	28.9	4.8	5.1	31.9	24.7	0.1	0.0	4.7	100.0
小学校	27.2	9.5	3.9	2.8	49.5	0.0	-	7.1	100.0
中学校	23.5	2.9	5.4	50.8	14.6	0.0	-	2.8	100.0
高等学校	23.2	0.9	7.8	58.6	4.9	0.2	0.0	4.4	100.0
高等専門学校	23.3	4.4	7.7	51.5	5.6	2.3	-	5.1	100.0
幼稚園	97.3	-	-	-	-	0.1	-	2.6	100.0
保育所	99.0	-	-	-	-	0.0	-	1.0	100.0

単位：人

	各教科等	特別活動 (除学校行事)	学校行事	課外指導	休憩時間	寄宿舎	技能連携	通学(園)中	合計
総数	323,841	53,497	56,738	357,342	276,599	754	14	52,663	1,121,448
小学校	113,662	39,852	16,162	11,512	206,417	41	-	29,646	417,292
中学校	93,503	11,388	21,356	201,715	58,115	154	-	11,156	397,387
高等学校	56,677	2,143	19,020	142,782	11,921	456	14	10,790	243,803
高等専門学校	603	114	200	1,333	146	60	-	131	2,587
幼稚園	21,240	-	-	-	-	30	-	560	21,830
保育所	38,156	-	-	-	-	13	-	380	38,549

※1 帳票1-2参照

## 2 負傷・疾病における種類別発生割合

年齢が上がるにつれて比較的軽度な「挫傷・打撲」からの症状の重い「捻挫」「骨折」への発生割合が移行しているが、これは、より激しい運動や子どもたちの活動・行動範囲が広がるためと思われる。各学校種ごとに、どんな負傷・疾病が多いかを示したものが図2である。

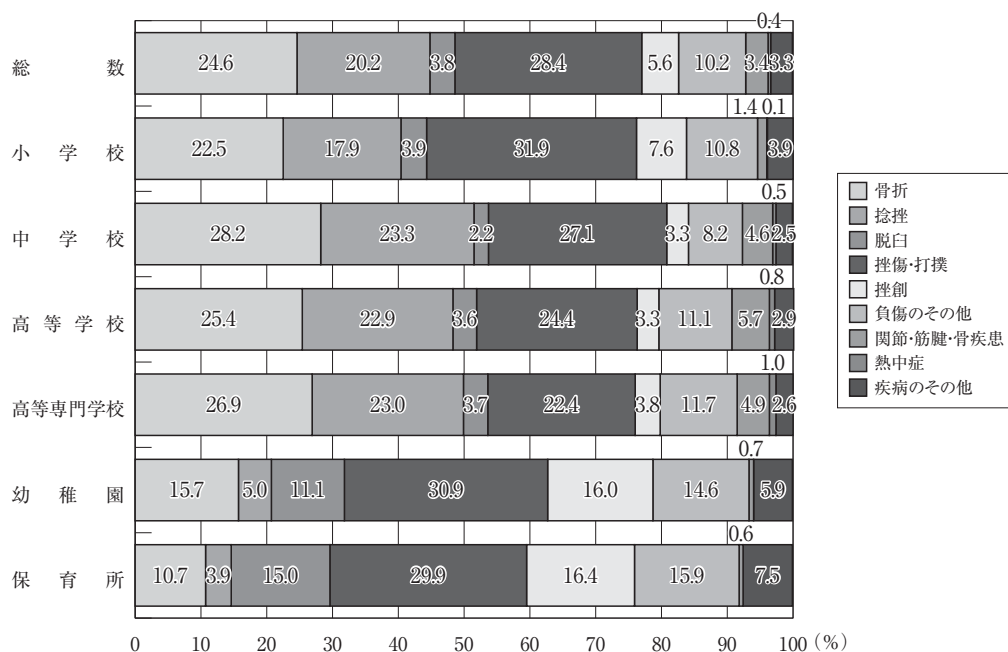


図2 負傷・疾病における種類別発生割合

表2

単位：%

	骨折	捻挫	脱臼	挫傷・打撲	挫創	負傷のその他	関節・筋腱・骨疾患	熱中症	疾病のその他	合計
総数	24.6	20.2	3.8	28.4	5.6	10.2	3.4	0.4	3.3	100.0
小学校	22.5	17.9	3.9	31.9	7.6	10.8	1.4	0.1	3.9	100.0
中学校	28.2	23.3	2.2	27.1	3.3	8.2	4.6	0.5	2.5	100.0
高等学校	25.4	22.9	3.6	24.4	3.3	11.1	5.7	0.8	2.9	100.0
高等専門学校	26.9	23.0	3.7	22.4	3.8	11.7	4.9	1.0	2.6	100.0
幼稚園	15.7	5.0	11.1	30.9	16.0	14.6	0.7	0.0	5.9	100.0
保育所	10.7	3.9	15.0	29.9	16.4	15.9	0.6	0.0	7.5	100.0

単位：人

	骨折	捻挫	脱臼	挫傷・打撲	挫創	負傷のその他	関節・筋腱・骨疾患	熱中症	疾病のその他	合計
総数	276,150	226,144	42,108	318,967	62,771	114,450	38,636	4,694	37,528	1,121,448
小学校	93,943	74,564	16,311	133,156	31,599	45,082	5,891	458	16,288	417,292
中学校	112,046	92,647	8,788	107,597	13,193	32,785	18,271	2,172	9,888	397,387
高等学校	61,900	55,721	8,696	59,389	8,050	26,978	13,958	2,020	7,091	243,803
高等専門学校	695	595	96	580	98	302	127	26	68	2,587
幼稚園	3,428	1,094	2,431	6,738	3,493	3,188	160	10	1,288	21,830
保育所	4,138	1,523	5,786	11,507	6,338	6,115	229	8	2,905	38,549

※1 帳票3-1(2)、3-2(2)、3-3(2)、3-4(2)、3-5(2)、3-6(2)参照

### 3 負傷・疾病における部位別発生割合

保育所・幼稚園では、「頭部」「顔部」の発生割合が高くなっている。これは転倒した時に手をつくという、とっさの動作が上手くとれないためと思われる。小学校、中学校、高等学校と学年が上がるにつれて、「上肢部」「下肢部」の発生割合が増加している。

各学校種ごとに、各部位における負傷の発生割合を示したものが図3である。

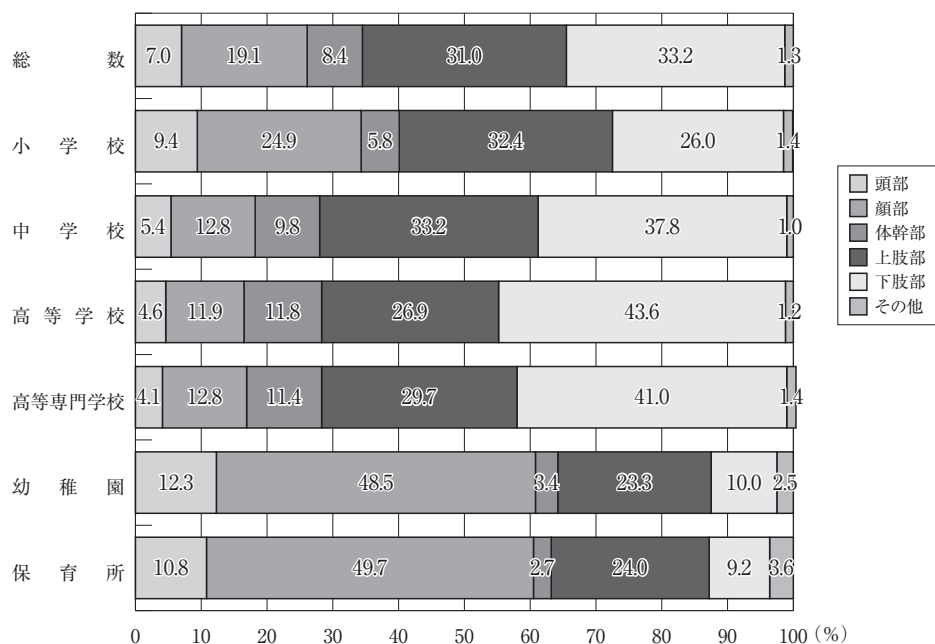


図3 負傷・疾病における部位別件数表

表3

単位：%

	頭部	顔部	体幹部	上肢部	下肢部	その他	合計
総数	7.0	19.1	8.4	31.0	33.2	1.3	100.0
小学校	9.4	24.9	5.8	32.4	26.0	1.4	100.0
中学校	5.4	12.8	9.8	33.2	37.8	1.0	100.0
高等学校	4.6	11.9	11.8	26.9	43.6	1.2	100.0
高等専門学校	4.1	12.8	11.4	29.7	41.0	1.4	100.0
幼稚園	12.3	48.5	3.4	23.3	10.0	2.5	100.0
保育所	10.8	49.7	2.7	24.0	9.2	3.6	100.0

単位：人

	頭部	顔部	体幹部	上肢部	下肢部	その他	合計
総数	78,764	213,902	94,008	347,783	372,017	14,974	1,121,448
小学校	39,133	104,035	24,377	135,141	108,638	5,968	417,292
中学校	21,535	50,723	38,835	131,922	15,290	4,082	397,387
高等学校	11,137	29,084	28,738	65,624	106,290	2,930	243,803
高等専門学校	105	331	294	769	1,052	36	2,587
幼稚園	2,693	10,583	735	5,075	2,190	554	21,830
保育所	4,161	19,146	1,029	9,252	3,557	1,404	38,549

※1 帳票3-1(1)、3-2(1)、3-3(1)、3-4(1)、3-5(1)、3-6(1)参照

## 4 負傷と疾病の割合

センターの災害共済給付制度は、学校の管理下の事故災害（負傷、疾病、死亡及び障害）について給付の対象としているが疾病の範囲について、支給対象の疾病が限定されているため、どの学校種においても、疾病の割合が極めて低くなっている。

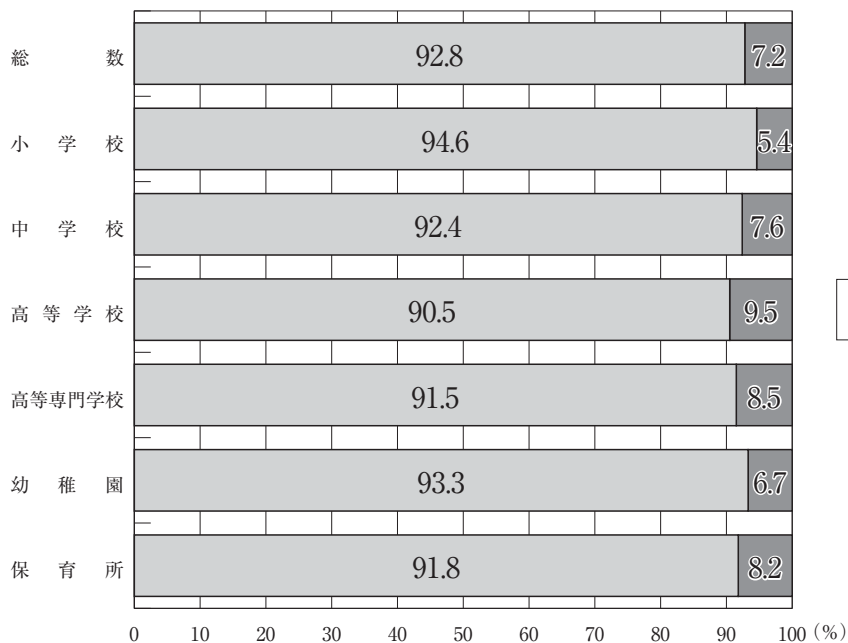


図4 負傷と疾病の割合

表4

単位：%

	負傷	疾病	合計
総数	92.8	7.2	100.0
小学校	94.6	5.4	100.0
中学校	92.4	7.6	100.0
高等学校	90.5	9.5	100.0
高等専門学校	91.5	8.5	100.0
幼稚園	93.3	6.7	100.0
保育所	91.8	8.2	100.0

単位：人

	負傷	疾病	合計
総数	1,040,590	80,858	1,121,448
小学校	394,655	22,637	417,292
中学校	367,056	30,331	397,387
高等学校	220,734	23,069	243,803
高等専門学校	2,366	221	2,587
幼稚園	20,372	1,458	21,830
保育所	35,407	3,142	38,549

※1 帳票1-1参照

## 5 負傷における男女の割合

各学校種ごとの負傷における男女の割合については図5のとおりである。  
 全ての学校種において、男の方が多くの割合を占めている。

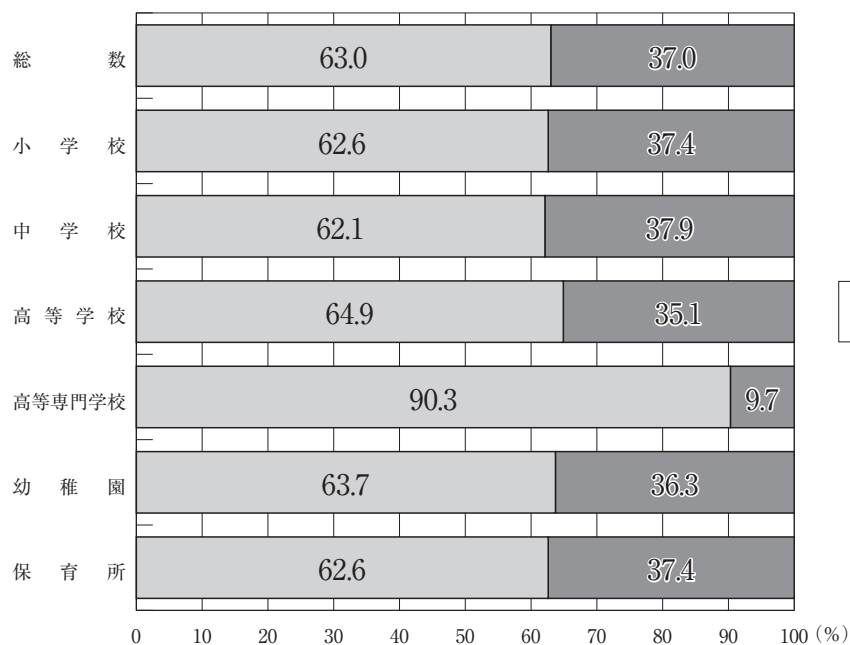


図5 負傷における男女の割合

表5

単位：%

	総数	小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	幼稚園	保育所
男	63.0	62.6	62.1	64.9	90.3	63.7	62.6
女	37.0	37.4	37.9	35.1	9.7	36.3	37.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

単位：人

	総数	小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	幼稚園	保育所
男	655,550	247,180	227,917	143,182	2,136	12,982	22,153
女	385,040	147,475	139,139	77,552	230	7,390	13,254
合計	1,040,590	394,655	367,056	220,734	2,366	20,372	35,407

※1 帳票1-1参照



## 6 疾病における男女の割合

各学校種ごとの疾病における男女の割合については図の6のとおりである。  
 全ての学校種において男の方が多くの割合を占めている。

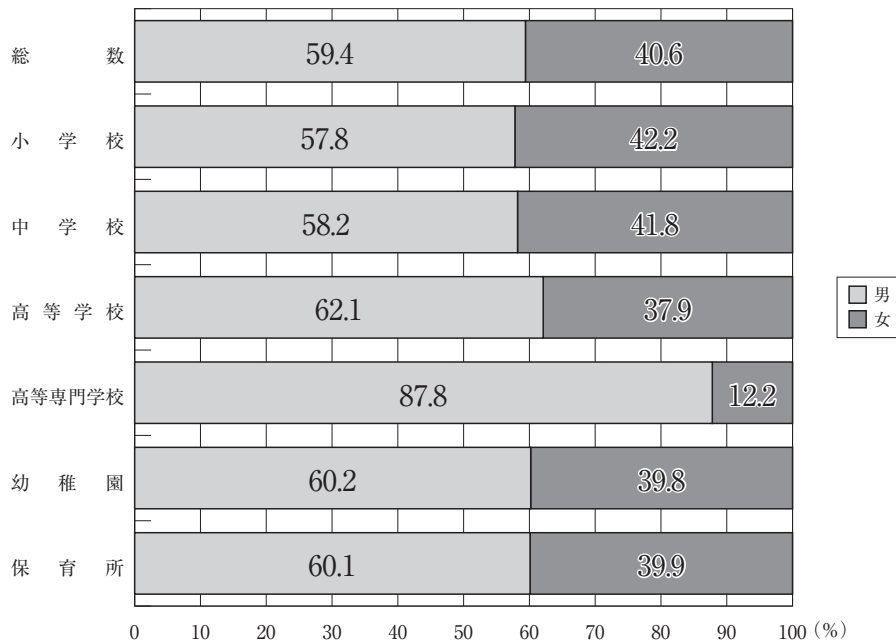


図6 疾病における男女の割合

表6

単位：%

	総数	小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	幼稚園	保育所
男	59.4	57.8	58.2	62.1	87.8	60.2	60.1
女	40.6	42.2	41.8	37.9	12.2	39.8	39.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

単位：人

	総数	小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	幼稚園	保育所
男	48,013	13,090	17,642	14,321	194	878	1,888
女	32,845	9,547	12,689	8,748	27	580	1,254
合計	80,858	22,637	30,331	23,069	221	1,458	3,142

※1 帳票1-1参照